

Yume-pedia の開設

かつては、調べ物をする際には、「ブリタニカ百科事典」、あるいは、「平凡社大百科事典」でしたが、最近は、もっぱら「ウィキペディア」が利用されているようです。

「ウィキペディア（英: Wikipedia）」は、ご存知のようにウィキメディア財団が運営しているインターネット百科事典です。この百科事典の特徴は、コピーレフトなライセンスのもと、誰もが無料で自由に編集に参加できるということで、いわゆる、みんなが寄ってたかって、知識を出し合い構築されてきた自己増殖型の百科事典です。執筆者は、世界中の人々で、この百科事典を作るためのウェブ管理者だけが存在しているといっていると思います。課題は、百科事典の命である正確な情報であるか否かの見極めにあるかと考えます。

さて、今回の提案である「Yume-pedia」は、この「ウィキペディア」の仕組みを、夢アイデアの実現のための運営に活用してみようという提案です。

これまでの 10 年間の成果も有り、夢アイデアの応募作品は相当数にのぼり、それらをまとめた立派な冊子も出来上がりました。そして、いくつかの夢アイデアを、夢から実現のものとしていくつかのプロジェクトも立ち上がっています。今回の提案は、この活動を支援することを目的として考えました。

「より素敵な夢のような世界になること」「描いた夢が、みんなの力で実現していくこと」は、国が違って、考え方が違って、環境が違って、すべての人々が思う願いです。

これまでは、その願ってもひとりひとりの思いを、多くの人に伝える手段は限られたものでしたが、今は、ネット社会となり、誰でもどこでもつながることができるようになりました。

いろいろな人の思い、経験、ノウハウを自由に出し合うことができる場が、気軽に、かつ身近にあることで、さらに大きな夢へ、あるいは、より具体的な行動へ繋げることが可能となりました。

今までも、そしてこれからも理想の社会の実現のためにいろいろなインフラ整備を行ってきた私たち建設技術者がやるべき、その夢の実現へ向かう世界のインフラ整備が、「Yume-pedia」です。

さて、その仕組みを紹介します。

今まで集まった夢アイデア作品は、稲作に例えれば、「苗」にあたりますので、この仕組みの中では「夢苗 (yumenae)」と呼びます。この「夢苗」を世界中の人に育ててもらうために、四つの支援を必要とします。それは、稲作で言う「田植え」「施肥」「草刈り」と「稲刈り」で、ここでは、「夢田植え(yume-taue)」「夢施肥(yume-sehi)」、「草刈り(kusakari)」、「夢稲刈り(yume-inekari)」と呼びます。それぞれ次のような役割を果たす仕組みです。



「夢田植え」: 現在の夢アイデア作品である「夢苗」を、「Yume-pedia」のウェブという田圃に植えることをさします。この作業は、極めて重要な作業で、植え方が今後の成長に大きく影響します。「夢田植え」は、提案者の協力のもと、ウェブの賛同者ではじめます。

「夢施肥」：閲覧者からの自由な発想で、「夢苗」に対して、コメントをつけていくこと。実現するためのアイデアでもいいですし、抱える課題や問題点の解決策などを自由にコメントしてもらうこととします。

「草刈り」：自由なコメント中には、提案者の「夢」を破るようなコメントも出てくるでしょう。そのようないわば「雑草」を除去する作業が、「草刈り」です。「草刈り」は、ウェブ管理者が行うこととなります。ただ、ウェブ管理者は、数名ではなく、夢アイデア委員会が認定した「夢アイデア 草刈り人」が行うこととなります。

また、このための「Yume-pedia」の作業場として、次の場（サイト）が必要になります。

「夢苗床」：「夢苗」を田圃に出すまでに育てるサイトです。「夢苗床」には、これまで提案された夢アイデア作品を育てる苗床と、今後、新しく提案される夢アイデアの受け皿としての2つの苗床があります。前者は、現在のJCCA九州支部の夢アイデアのHPが該当します。また、後者は、今後も続けられるであろう「夢アイデアコンテスト」の場が該当します。

「夢田圃」：「夢苗」を「夢田植え」でウェブサイトに掲載するサイトで、今回の提案は、この「夢田圃」を新たに設けることを提案するものです。ここから、毎年出される夢アイデア作品「夢苗」は、世界中の人の思いを受けて、すくすくと育っていくこととなります。

さて、最後の仕上げが、「稲刈り」に該当する「夢稲刈り(yume-inekari)」です。この稲刈りは、「夢田圃」を見てくれていた人、いろいろなアイデアを出してくれた人などが、もとの夢アイデア作品を元に、バージョンアップした作品とするものです。

ちなみに、「夢稲刈り」の場は、ウェブ管理者が、ある程度議論が煮詰まったと判断した段階で、ウェブに開設します。開設の時期は、「熟度」として議論の成長を評価し、最終的に「夢稲」が実った時です。

「Yume-pedia」としての夢実現に対する役割はここまでです。あとは、刈り取った稲を精米して、食べられるように加工してくれる人、あるいは、料理してくれる人、つまり、刈り取られた「夢稲」を、実践者

してくれる人を待つ段階です。「夢稲」は、いわば、お米になった状態です。この作ったお米を、おにぎりにするか、日本酒にするか、おせんべいにするかは、お米の買い手の自由に任せることとなります。（ちなみに、具体的な提案になればモノによっては、著作権の問題が出るかもしれませんが、原則は、著作権フリーです）



当然、これらの活動に協力してくれた人にもリターンがあります。

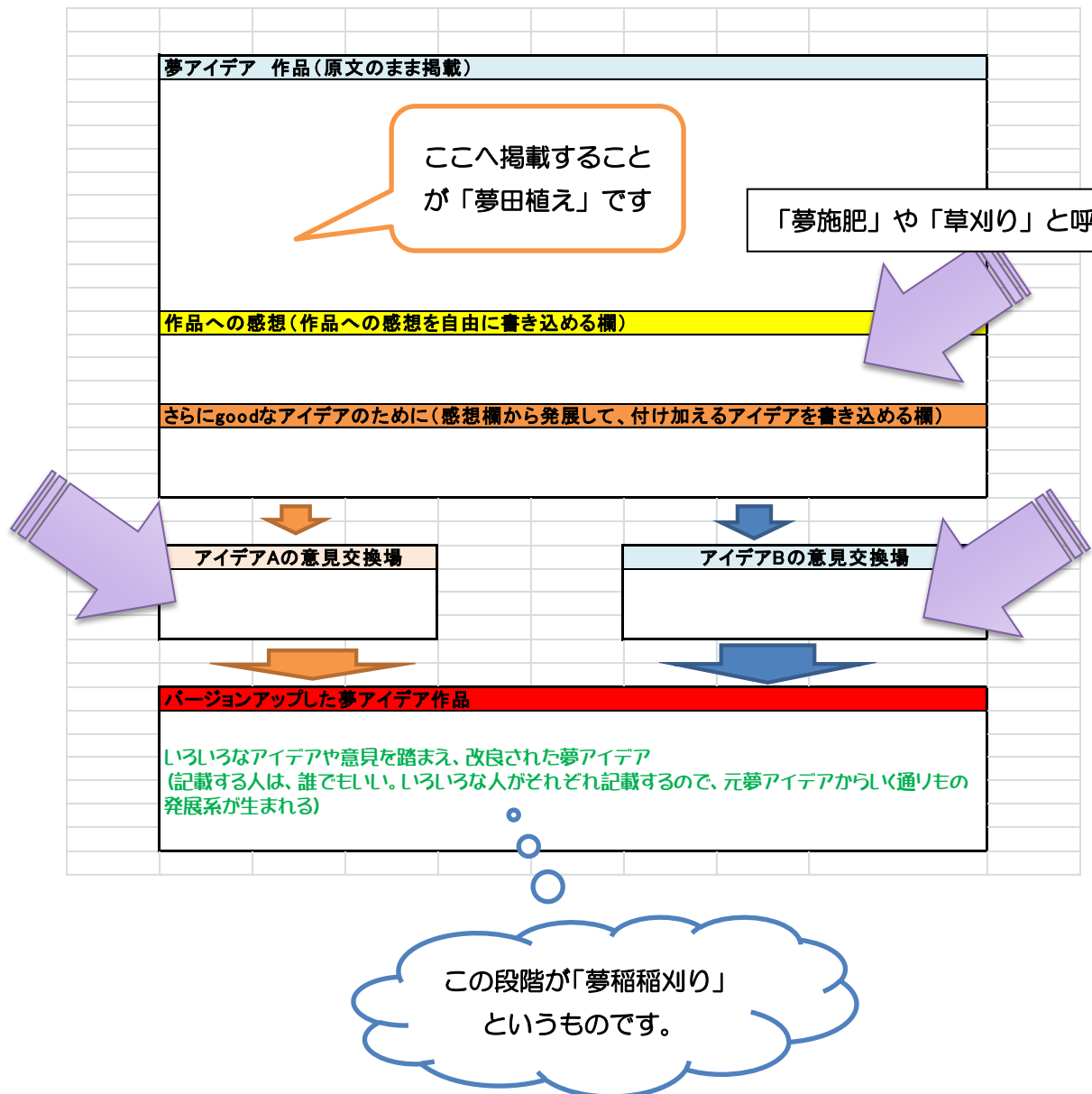
それは、自分が考えた、あるいは協力して作り上げた夢が実現するというご褒美です。これほど、豪華な報酬はないのでしょうか。

百科事典としての正確性に懸念のある「ウィキペディア」と異なり、「Yume-pedia」には、正確性は求められません。幸せになりたという思い、願いを持っていれば、どんな記述もウエルカムです。

世界中の人が、この「夢アイデア」の「夢苗」を育て、実現していく。これこそ夢の世界の実現で、**究極の夢アイデア**ではないでしょうか！！



夢田圃のイメージ



(参考)

「ウィキペディア (Wikipedia)」という名前は、ウェブブラウザ上でウェブページを編集することができる「ウィキ (Wiki)」というシステムを使用した「百科事典」(英: Encyclopedia) であることに由来する造語である。